

ハワイで英語「自信に」 勝山の中高生 交流成果を発表



ハワイでの活動の様子を写真などで紹介する生徒＝17日、勝山市教育会館

勝山市内の中高生が3月に米国ハワイ州オアフ島で現地の高校生らと交流した市の派遣事業の報告会が17日、市教育会館で開かれた。参加した生徒は「学習してきた英語を生かし会話でき、自信につながった」と振り返った。

市ハワイ青少年交流事業として2013年度から行っている。中学生12人、高校生1人が4泊6日の日程で、現地のモアナルア高校を訪れたり、パールハーバーなどを見学した。

報告会には生徒や保護者ら約30人が出席。生徒は活動の写真や動画を見せながら交流事業の成果

を発表した。「英語は苦手だったが楽しむことができ、自信や達成感につながった」「ジェスチャーでも伝わったが、もっと英語を話せるようになりたい」などと感想を語った。

このほか2国間の文化について「現地の人の方が日本文化を詳しく知っていた。もっと自国のことを知らなければならぬと感じた」「現地では(日本人に)積極的に話し掛けてくる。日本でも外国人とコミュニケーションを取るようにした」などの意見が出た。

(宮本幸直)